



BitNote 操作説明書

製作著作

©2016 : TURBOSYSTEMS CO., TLD. All rights reserved.

本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的のために複製、配布することはできません。

TURBOSYSTEMS CO., TLD.、ターボシステムズの名称およびロゴはターボシステムズ株式会社の商標または登録商標です。






その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。本ガイドでは、©、®、™ の表示を省略しています。ご了承ください。

ご使用前にお読みください



A. 警告表示について

下記マークは本製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	警告	死亡または重大な傷害を引き起こす可能性が高い差し迫った危険の存在を示すのに用いられます。
 危険	危険	死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。
 注意	注意	軽度の傷害または中程度の傷害を引き起こす恐れのある潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。
 危険パーツ	危険パーツ	軽度の傷害または中程度の傷害を引き起こす恐れのある危険なファンの存在を示すのに用いられます。
 重要	重要	人身傷害とは関係のない損害をひき起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。















また、危害や損害の内容を示すために、上記のマーク表示と同時に次の記号を使っています。

	禁止行為（してはいけない行為）であることを告げるものです。具体的な禁止内容が示されています。
	必ず従っていただく内容であることを告げるものです。具体的な指示内容が示されています。










本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。

また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。





B. 安全上のご注意

 警告	
	<p>本製品の分解・解体・改造・再生を行わないでください。</p> <p>この装置を改造しないでください。火災や感電の原因になります。</p> <p>また、改造により発生した結果については、一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。</p>
	<p>万一、発煙・異臭などがあった場合は、装置への給電を遮断し、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。</p> <p>故障状態のままお使いになると火災や感電の原因になります。</p>
	<p>本製品の電源ケーブルは、タコ足配線にしないでください。</p> <p>コンセントが過熱し、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>電源ケーブルは、プラグ部分を持ってコンセントから抜いてください。</p> <p>プラグが傷んで感電や火災のおそれがあります。</p>
	<p>電源プラグの金属部分にほこりが付着している場合は、乾いた布でよくふき取ってください。</p> <p>そのまま使用すると、火災の原因となります。</p>
	<p>電源プラグは、電源コンセントに確実に奥まで差し込んでください。</p> <p>差し込みが不十分な場合、感電・発煙・火災の原因となります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。</p> <p>感電のおそれがあります。</p>
	<p>使用中の装置を布でおおったり、包んだりしないでください。</p> <p>不十分な換気状態では熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>金属片やコーヒーなどの液体やクリップなど、装置内部に入らないように気をつけてください。</p> <p>また、装置内部に異物が入るのを防ぐため、装置の上には物を置かないでください。</p> <p>感電や火災のおそれがあります。</p>
	<p>空冷ファンは交換しないでください。作業時に指を挟んでけがをする危険性があります。</p> <p>交換が必要な場合には、担当営業員に連絡してください。</p>
	<p>装置を落下させたり、その筐体が破損した場合は、使用しないでください。</p> <p>修理や点検なしに装置を使用すると、火災や感電のおそれがあります。</p>
	<p>この装置を開梱する時や持ち運ぶ時に指をはさんだり、ぶつけたりしてけがをしないように注意してください。</p>
	<p>装置を廃棄するときは、廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務付けられています。</p> <p>詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。</p>

 **注意**

	振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。 故障の原因となります。
	装置の上に物を置いたり、装置の上で作業したりしないでください。 故障の原因となります。
	装置が落下または転倒するおそれがあります。 装置の運搬時には十分注意してください。
	ほこりや腐食環境で機器を使用することは避けてください。 機械の故障の恐れがあります。
	薬品にふれる場所で使用しないでください。 故障の原因となります。
	電子レンジなど、強い磁界を発生する装置のそばで使用しないでください。 故障の原因となります。
	直射日光のあたる場所や暖房機の近く、湿気、ほこりの多い場所には置かないでください。 感電や火災のおそれがあります。
	直射日光のあたる場所や暖房機の近く、湿気、ほこりの多い場所には置かないでください。 感電や火災のおそれがあります。
	機器の前面と背面空間は換気口のために十分なクリアランスを確保してください。 過度の温度上昇は、本装置の故障、または耐用年数の短縮を引き起こす可能性があります。 また、保守作業のための十分な領域を確保してください。

 **重要**

	ねじの締め付け・取り外しの際には、ねじ頭の大きさ、種類に合った工具を使用し、ねじ頭を潰さないよう注意してください。 ねじの締め付け時には、ねじ山の破壊防止のため、無理な力を加えずねじ穴に対してまっすぐに締め付けてください。
	この装置をじんあいの多い所や、腐食性ガスのある環境で使用することは避けてください。故障の原因になります。
	この装置の前面および背面には、吸排気孔のためのスペースを必ず確保してください。温度上昇による故障または短寿命の原因になります。また、保守作業のための保守スペースが必要です。
	この装置にはハード・ディスク・ドライブが実装されています、機器への強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因となります。

C. 設置環境



この装置の機能を損なうことなく、ご使用していただくためには、適正な環境と取り扱いが必要です。

下記の場所に設置することは、装置の短寿命化や故障の要因となりますので避けてください。

- 極端に温度が高温または低温になる場所
- 極端に温度や湿度が変化する場所.
- 水がかかるおそれのある場所
- 煙がある汚れた場所.
- 換気が悪い場所.
- 電氣的ノイズが発生する機器の近く.
- 塵埃の多い場所
- 振動がある場所
- 腐食性ガスがある場所
- 音圧による振動がある場所
- 足元が電源ケーブルで巻き込まれる場所

D. 電源コードの接続



- 電源ケーブルは、この装置に添付されているケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使用すると機器故障、火災、および感電の原因となる場合があります。
- 電源ケーブルのプラグをコンセントに接続する際は、必ずアース端子（接地極）が接地されたコンセントを使用してください。
- 接地極のない2極差し込みプラグは使用しないでください。感電や機器故障の原因となります。

E. ご連絡先について

ご使用中の機器の故障、製品取扱に関するお問合せは、以下までご連絡お願い致します。

通常連絡先・修理機器送付先

〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-20-14 高輪パークタワー

受付時間： 平日 9：00～17：00

TEL： 03-6277-1824

Mail： vn_support@itochu-cable.co.jp

※保守サービスご契約中のお客様は、別途ご案内の保守サービスコールセンターまでご連絡下さい。

変更履歴

変更日	バージョン	変更内容
2016年10月21日	1.0.0	初版
2016年12月21日	1.0.1	プロファイル設定項目に「黒レベルの時間閾値(msec) (警告)」「フリーズレベルの時間閾値(msec) (警告)」「音声無音の時間閾値(msec) (警告)」 / 「音声 2 無音の時間閾値(msec) (警告)」「音声ラウドネス(LKFS) 警告」 / 「音声 2 ラウドネス(LKFS) 警告」を追加
2017年10月17日	1.0.2	「ログ DB のみ削除」、検査結果のエントリー数変更を追記

目次

第 1 章	はじめに.....	9
1.1	BitNote について	9
1.2	BitNote 機能概要	9
1.3	BitNote サーバ仕様.....	12
第 2 章	ウェブ管理画面へのアクセス.....	15
2.1	電源オン / オフ.....	15
2.2	ログイン.....	16
2.3	ログアウト.....	18
2.4	パスワードの変更	18
第 3 章	ダッシュボード	19
第 4 章	システム設定	22
4.1	ネットワーク設定	22
4.2	時刻設定.....	24
4.3	マウント設定	25
4.4	Windows 共有設定	27
4.5	アラート設定	29
4.6	システム.....	31
第 5 章	QC.....	33
5.1	プロファイル.....	33
5.2	検査実行.....	35
5.3	検査結果.....	39
第 6 章	システム情報	42
第 7 章	プロファイル.....	43
7.1	コンテナ設定	43
7.2	映像設定.....	44
7.3	音声設定.....	45
7.4	その他	48
第 8 章	プレビュー.....	49
第 9 章	アラート一覧.....	52

第1章 はじめに

本書は「BitNote」の概要、機能、およびソフトウェアの操作方法について記載しています。本書は本装置を使用されるシステム設計者および管理者を対象とし、ネットワークや映像配信に対する基礎的な知識をお持ちであることを前提に記述しています。

BitNote

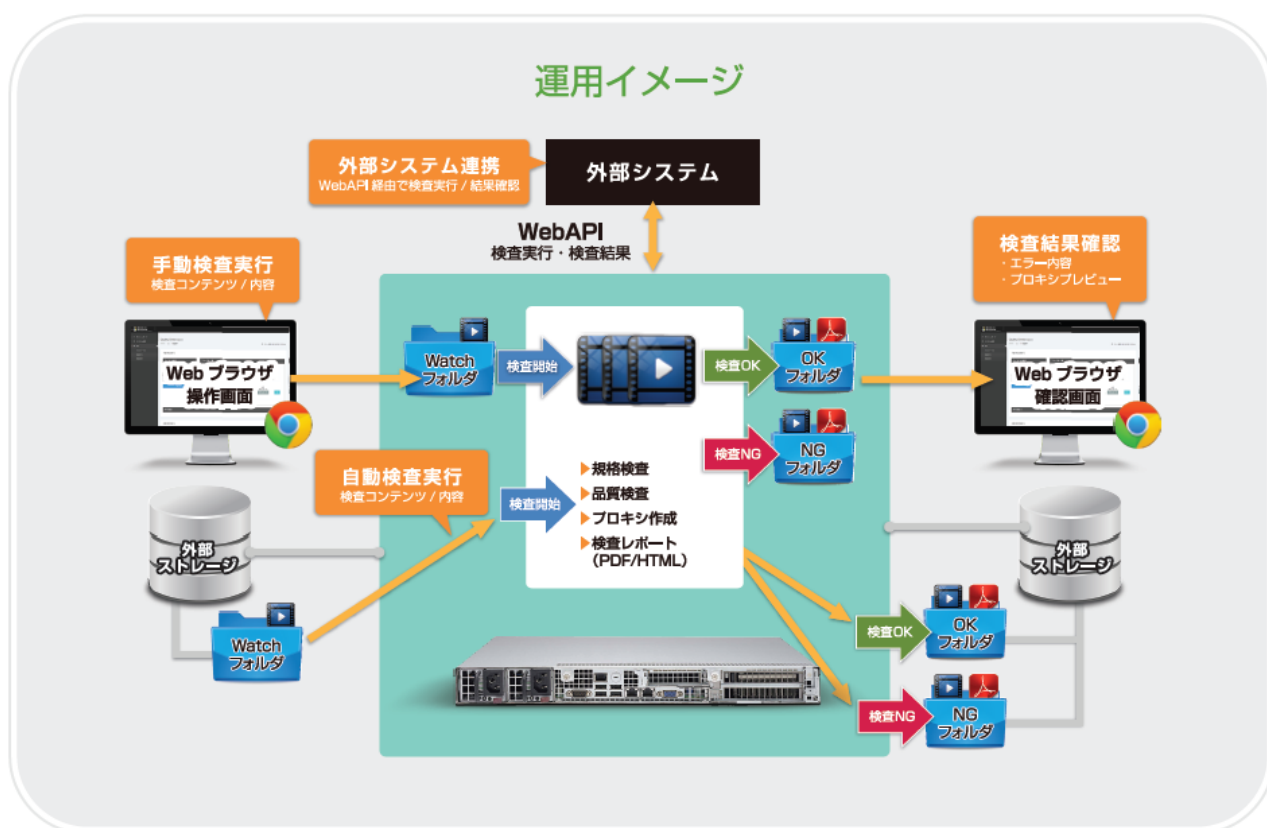
<http://www.turbosystems.co.jp/BitNote/>

1.1 BitNote について

BitNote は、動画コンテンツの規格適合性および品質検査を行う自動検査システムです。従来の目視検査にかわる QC (Quality Check) ツールとして利用することにより、搬入/放送用コンテンツの安全な受け入れと検査時間の大幅な短縮が可能になります。また、わかりやすい日本語対応ウェブ操作画面と XJive シリーズで培われた高度な解析技術により低コストながらも高速な検査オペレーションを実現します。

1.2 BitNote 機能概要

運用イメージ



主な特徴

- ・ 分かりやすい日本語対応ウェブ操作画面を搭載
- ・ ウォッチフォルダ監視による自動検査および検査完了ファイルの振り分け
- ・ NFS、Samba および USB 外部ストレージのマウントに対応
- ・ XDCAM/XAVC/HEVC などの主要フォーマットに対応（4K 対応）
- ・ 閾値によるユーザ独自の検査プロファイルを設定可能
- ・ 規格検査だけでなく品質検査にも対応：黒味、フリーズ、無音、ラウドネス、モノラルチェック、パカパカ（オプション）
- ・ レポート出力（PDF、HTML）※ 日本語表示/エラー箇所のサムネイル表示
- ・ プロキシ生成/プレビュー ※ 検査時にプロキシを生成しブラウザからプレビュー可能
- ・ 検査結果の自動削除機能
- ・ 検査結果のメール通知、SNMP トラップ通知が可能
- ・ 外部システムからの WebAPI による制御（別途ご相談）

対応フォーマット

コンテナ	MXF, MPEG2-TS
映像コーデック	XDCAM, XAVC, H.265/HEVC, H.264/AVC, MPEG-2
音声コーデック	リニア PCM, MPEG-2 AAC, MPEG-4 AAC

検査項目

コンテナ	コンテナタイプ, ビットレート, コンテナデューレーション, MXF オペレーショナルパターン, GOP 発行間隔, PCR 発行間隔, PAT 発行間隔, PMT 発行間隔, TS PID, TS PMT PID, TS PCR PID, TS VIDEO PID, TS AUDIO PID, TS AUDIO2 PID
映像コーデック	映像コーデック, 映像プロファイル, 映像レベル, 映像フォーマット, 映像サイズ, アスペクトレシオ, フレームレート, フィールドオーダー, カラーレンジ, カラースペース, カラープライマリ, カラートランスファー, 映像デューレーション, 映像ビットレート, 映像揺らぎ誤差, 黒味, フリーズ, スタートタイムコード, Harding FPA（オプション）
音声コーデック	音声コーデック, 音声プロファイル, 音声レベル, サンプルレート, ラウドネス, 音声揺らぎ誤差, 音声デューレーション, 音声ビットレート, 映像と音声の差, 無音, トウルーピーク, ラウドネスピーク

Web 管理インターフェイス

BitNote が提供するウェブ管理インターフェイスにより、容易にサーバ設定やアプリケーション操作が可能です。

ダッシュボード	各種サマリ、ステータスを一覧表示します。 <ul style="list-style-type: none">・ CPU / メモリ / ストレージ使用率・ QC 進捗状況表示・ OC 結果一覧 (最近 20 件まで)
設定	サーバ、外部ストレージマウント、アラート設定等、システムに関する設定を行います。 <ul style="list-style-type: none">・ ネットワーク設定 (IP アドレスの設定)・ 時刻設定 (NTP サーバの指定)・ マウント設定 (NFS, CIFS 共有ストレージのマウント設定)・ Windows 共有設定 (データ領域の公開設定)・ アラート設定 (SNMP トラップの設定)・ システム (サーバの再起動/停止、検査結果削除設定等)
OC	プロファイルの作成、検査実行、検査結果の表示等を行います。 <ul style="list-style-type: none">・ プロファイル (プロファイルの作成、編集)・ 検査実行 (ウォッチフォルダの設定、手動検査実行)・ 検査結果 (検査結果一覧、レポート表示/ダウンロード、プロキシレビュー表示)
システム情報	バージョン情報の確認やシステムのアップデートを実行できます。

1.3 BitNote サーバ仕様

本体・ハードウェア

CPU	Intel® Xeon® Processor E5-2640 v4
メモリ	32GB (8Gbyte x4)
ディスク	SSD 120GB x2 (RAID1) データ領域 HDD 2TB x2 (RAID1)
イーサネット	RJ-45 1GBase-T x2 (オプション: RJ-45 10GBase-T, SFP 10G)
電源	500W 冗長電源
サイズ	1U ラックマウント: H.43mm x W.437mm x D.650mm
重量	約 13kg

※ ハードウェアは予告なく変更になる可能性があります

ハードウェア筐体前面



①	SSD1 (システムドライブ 120GB/RAID1) LED グリーン点滅/点灯: ディスクアクセス状態 LED レッド点灯: ディスク障害
②	SSD2 (システムドライブ 120GB/RAID1) LED グリーン点滅/点灯: ディスクアクセス状態 LED レッド点灯: ディスク障害
③	HDD (データドライブ 2TB) LED グリーン点滅/点灯: ディスクアクセス状態 (消灯時はアクセスなし)

	LED レッド点灯： ディスク障害
④	HDD (データドライブ 2TB) LED グリーン点滅/点灯： ディスクアクセス状態 (消灯時はアクセスなし) LED レッド点灯： ディスク障害
⑤	<p>⏻ 電源ボタン： 押下時に電源起動、長押し時に強制シャットダウン ※強制シャットダウンはウェブ管理画面からシステム終了が出来ない場合のみ実行して下さい。</p> <p>🔄 リセットボタン： システムリブート ※リセットはウェブ管理画面からシステム終了が出来ない場合のみ実行して下さい。</p> <p>💡 電源インジケータ： 電源起動時にグリーン表示、電源 OFF 且つ電源供給時アンバー表示</p> <p>💾 HDD インジケータ： ディスクアクセス、DVD-ROM がアクティブ時に点滅</p> <p>🌐 NIC1 インジケータ： eth0 アクティブ時に点滅</p> <p>🌐 NIC2 インジケータ： eth1 アクティブ時に点滅</p> <p>U ユニバーサルインフォメーション： システム状態を表示 LED レッド点滅 (1 秒に 1 回)： ファン故障 LED レッド点灯： CPU オーバーヒート LED レッド点滅 (4 秒に 1 回)： 電源故障 LED ブルー点灯： UID 押下時 LED ブルー点滅： IPMI アクティブ時</p> <p>UID UID ボタン： 押下時にユニバーサルインフォメーションが LED ブルー点灯</p>

ハードウェア筐体背面



①	電源 1, 2
②	USB2.0 接続ポート
③	USB3.0 接続ポート
④	eth0 ポート (1GbE) 出荷時 IP アドレス : 192.168.0.1 eth1 ポート (1GbE)

⑤	eth2 ポート (10GbE) eth3 ポート (10GbE) ※オプション
---	---

対応 Web ブラウザ

BitNote は Google Chrome での動作を確認しています。

Microsoft Edge 等、他のブラウザでも動作は可能ですが、レイアウトや動作に問題が発生する可能性があります。

動画ファイルの拡張子

動画ファイルの拡張子はコンテナに合わせて必ず以下の通りとしてください。

コンテナ	ファイル拡張子規則
MPEG2 TS	ファイル名. ts
XAVC / XDCAM	ファイル名. mx f

続行不可能なエラー

QC の続行が不可能なエラーには以下があります。

- ・ サポートしていないコンテナ
- ・ サポートしていないコーデック
- ・ ストリームの情報が解析不可能な場合
- ・ データが空の場合

プロファイルに記述がなくてもエラーになる検査項目

以下の場合、プロファイルに記述がなくてもエラーとして検出されます。

- ・ m2ts で GOP, PCR, PMT, PAT が 1.x 秒間以内発生されない場合
- ・ すべての管理するタイムスタンプいずれかが負の値に変化した場合
- ・ m2ts で、ts section の CRC32 エラーを検出した場合
- ・ m2ts の ts pes において、continuity_counter が非連続または、transport_scrambling_control がある場合、または pes が破壊されている場合
- ・ m2ts の pmt の値が変化した場合
- ・ 映像のデコードに失敗した場合
- ・ 音声のデコードに失敗した場合
- ・ 音声のフォーマットが途中で変更された場合。例) stereo → 5.1

第2章 ウェブ管理画面へのアクセス

2.1 電源オン / オフ

BitNote の電源をオンするには、ハードウェア筐体前面の電源ボタンを押します。



電源投入からシステムが起動するまでには、およそ 2 分 30 秒かかります。

電源オフの方法については「4.6 システム」を参照してください。

2.2 ログイン

BitNote のウェブ管理画面へアクセスするには、クライアントのウェブブラウザを起動して以下の URL へアクセスします。

http://BitNote ホスト名または IP アドレス/

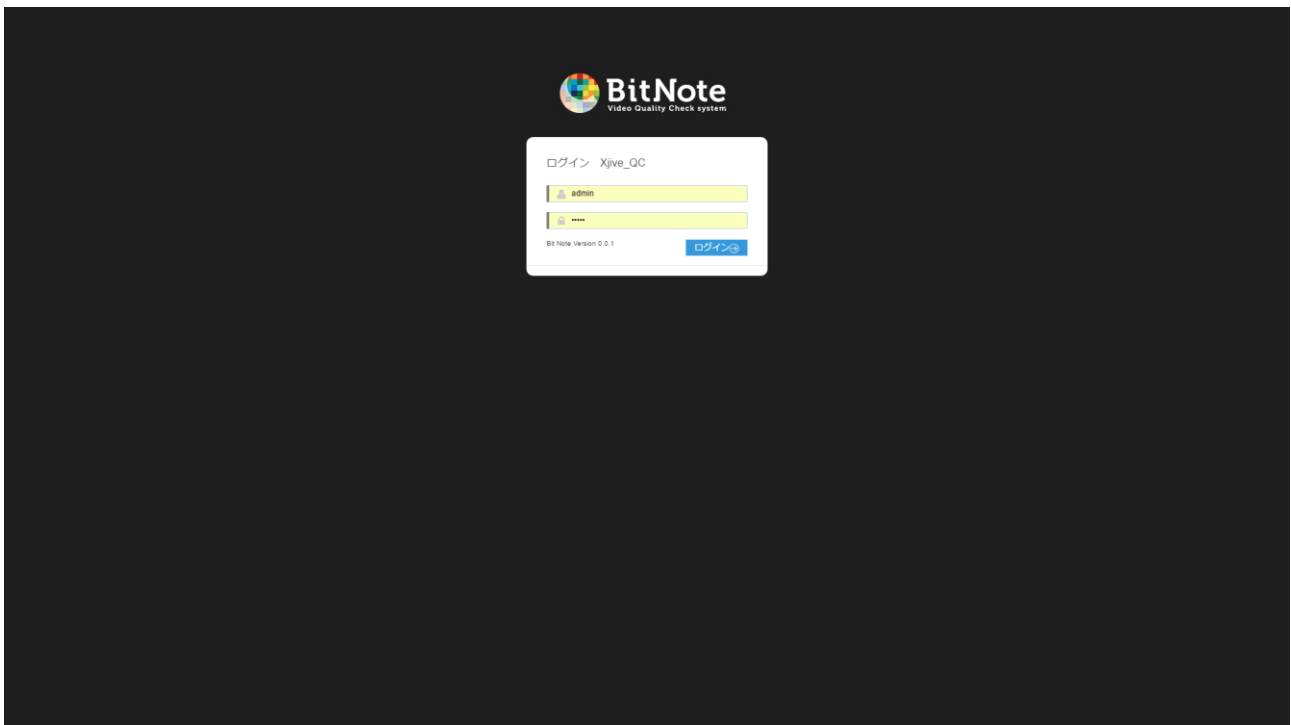


製品出荷時は eth0 ポートへ 192.168.0.1/255.255.255.0 が設定されています。



ホスト名を指定してアクセスするには、DNS サーバによって名前解決可能な環境である必要があります。

BitNote のログイン画面が表示されます。



初期状態では以下のユーザ名とパスワードが設定されています。

ユーザ名	パスワード	説明
admin	admin	BitNote の管理者です。ウェブ管理ツールより全ての設定操作が可能です。
bitnote	bitnote	bitnote ユーザが標準で作成されています。このユーザでログインすると、「QC」メニューと「システム設定」 - 「システム」メニューだけが表示されます。



パスワードの変更は「2.4 パスワードの変更」を参照してください。



ログイン画面には「システム設定」 - 「ネットワーク設定」で指定したホスト名が表示されます。

「ユーザ名」に admin、「パスワード」に admin を入力し、「ログイン」ボタンを押します。

The screenshot shows the BitNote dashboard interface. On the left is a navigation menu with options like 'ダッシュボード', 'システム設定', 'QC', and 'システム情報'. The main content area is divided into several sections:

- システムステータス:** A table showing system metrics: CPU (93%), メモリ (34%, 23136738MB), システムストレージ (60%, 1057117676MB), and データストレージ (58%, 5155688987MB).
- 最新の実行結果:** A table listing recent file checks with columns for date, filename, and results (e.g., '項目数=43', '項目数=31').
- 実行中:** A table showing currently running tasks with columns for working directory, profile, filename, progress bar, and status (e.g., '停止', '優先実行').

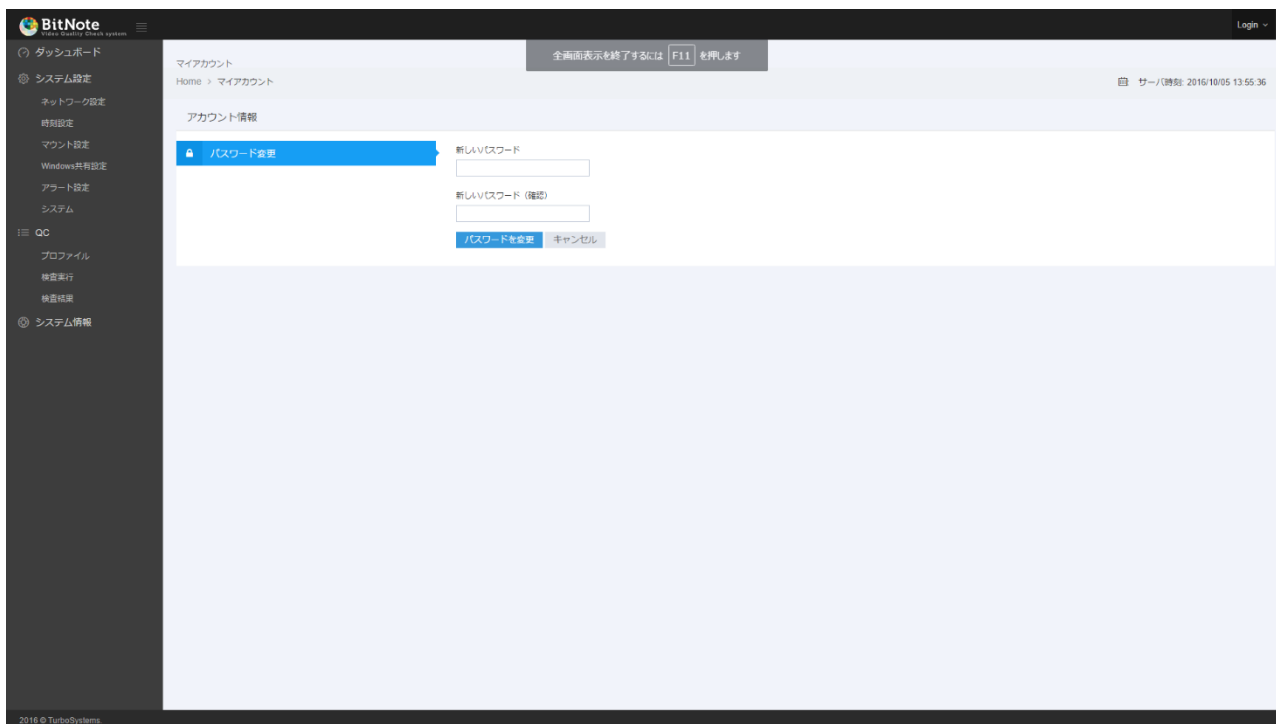
BitNote のウェブ管理画面（ダッシュボード）が表示されます。「第 3 章 ダッシュボード」を参照してください。

2.3 ログアウト

画面右上の「Login」メニューをクリックし、「Log Out」を選択します。ログイン画面へ戻ります。

2.4 パスワードの変更

画面右上の「Login」メニューをクリックし、「My Profile」を選択します。



パスワードを変更するには以下の項目を入力します。

現在のパスワード

現在のパスワードを入力します。

新しいパスワード

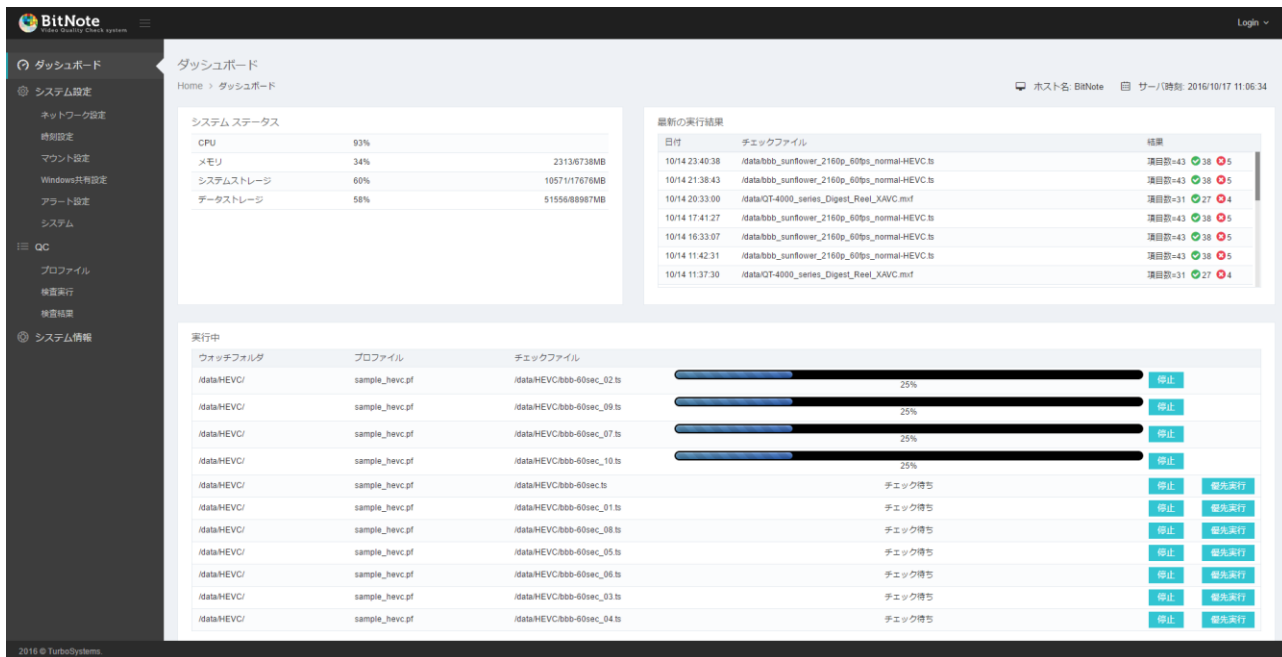
新しいパスワードを入力します。

新しいパスワード (確認)

新しいパスワードをもう一度入力します。

入力完了後、「パスワードを変更」ボタンを押します。

第3章 ダッシュボード



ダッシュボードは、BitNote のウェブ管理画面へログインしたときに表示されるトップページです。サーバのリソース状況や QC の実行状況といった情報を直感的に把握することが可能です。

ダッシュボードでは以下の情報を確認することができます。

サーバ時刻

BITNOTE に設定されているシステム時刻を表示します。

マシン名

管理画面右上に BITNOTE に設定したラベル名が表示されます。「0」の「マシン名 (ラベル)」で設定したマシン名が表示されます。

システム ステータス

システム ステータス		
CPU	16%	
メモリ	9%	610/6738MB
システムストレージ	72%	12686/17675MB
データストレージ	64%	56817/88988MB

CPU 使用率、メモリ使用率、システムドライブ使用率、データドライブ使用率をグラフィカルに表示します。

最新の実行結果

最新の実行結果

日付	チェックファイル	結果
10/14 23:40:38	/data/bbb_sunflower_2160p_60fps_normal-HEVC.ts	項目数=43 ✔ 38 ✖ 5
10/14 21:38:43	/data/bbb_sunflower_2160p_60fps_normal-HEVC.ts	項目数=43 ✔ 38 ✖ 5
10/14 20:33:00	/data/QT-4000_series_Digest_Reel_XAVC.mxf	項目数=31 ✔ 27 ✖ 4
10/14 17:41:27	/data/bbb_sunflower_2160p_60fps_normal-HEVC.ts	項目数=43 ✔ 38 ✖ 5
10/14 16:33:07	/data/bbb_sunflower_2160p_60fps_normal-HEVC.ts	項目数=43 ✔ 38 ✖ 5
10/14 11:42:31	/data/bbb_sunflower_2160p_60fps_normal-HEVC.ts	項目数=43 ✔ 38 ✖ 5
10/14 11:37:30	/data/QT-4000_series_Digest_Reel_XAVC.mxf	項目数=31 ✔ 27 ✖ 4

最近の QC の実行結果を 20 件まで表示します。



行をクリックすると、「検査結果」一覧画面の該当結果へジャンプします。

実行中

実行中

ウォッチフォルダ	プロファイル	チェックファイル	進捗	操作
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec_02.ts	<div style="width: 25%;"></div> 25%	停止
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec_09.ts	<div style="width: 25%;"></div> 25%	停止
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec_07.ts	<div style="width: 25%;"></div> 25%	停止
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec_10.ts	<div style="width: 25%;"></div> 25%	停止
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec.ts	チェック待ち	停止 優先実行
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec_01.ts	チェック待ち	停止 優先実行
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec_08.ts	チェック待ち	停止 優先実行
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec_05.ts	チェック待ち	停止 優先実行
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec_06.ts	チェック待ち	停止 優先実行
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec_03.ts	チェック待ち	停止 優先実行
/data/HEVC/	sample_hevc_pf	/data/HEVC/bbb-60sec_04.ts	チェック待ち	停止 優先実行

現在、検査中のファイルの進捗状況、および検査待ちファイルの一覧を表示します。4 ファイルまで同時実行可能です。5 つ目以降のファイルは検査待ち状態となります。

検査待ちのファイルは「優先実行」ボタンを押すことで、キューの先頭に移動することができます。

特定のファイルを先に検査したい場合に便利です。

検査をキャンセルするには「停止」ボタンを押します。



ウォッチフォルダにあるファイルをキャンセルした場合、そのファイルは検査対象から外されま
す。再度実行したい場合は、一旦、ファイルを削除し、もう一度ウォッチフォルダへファイルをコ
ピーしてください。



4ファイル同時検査実行中に、手動検査実行したファイルはキューの先頭に登録されます。

第4章 システム設定

この章では、BitNote のウェブ管理インターフェイスから設定可能な「システム設定」メニューについて記載しています。

4.1 ネットワーク設定

ネットワーク設定

ネットワーク設定

ホスト名

ネットワーク・インターフェイス

手動 IPv4アドレス
サブネットマスク

DHCP 192.168.0.1

手動 IPv6アドレス

自動 fe80::ec4:7aff:fed9:b5ba/64

GW

DNS

BitNote のホスト名の設定や IP アドレスの設定を行います。

ホスト名

BitNote のホスト名を指定します。ここで指定したマシン名は、ログイン画面やウェブ管理画面の右上に表示されます。

ネットワーク・インターフェイス

設定するネットワークインターフェイスをプルダウンから選択します。

BitNote サーバ背面に搭載されている 2 つのネットワークインターフェイスの設定が可能です。

サーバ背面のポート左から eth0、eth1 の順番になります。

手動 (IPv4)

固定 IP アドレスを設定する場合に選択します。IP アドレスとサブネットマスクを入力してください。



「手動」を選択し、「IP アドレス」と「サブネットマスク」を空白に設定した場合、対象のネットワークインターフェイスは起動しません。

DHCP (IPv4)

DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合に選択します。

手動 (IPv6)

IPv6 アドレスを手動で設定する場合に入力します。

自動 (IPv6)

IPv6 アドレスを自動取得する場合に選択します。

GW

デフォルトゲートウェイのネットワークインターフェイスと IP アドレスを設定します。

DNS

BitNote がホスト名と IP アドレスの名前解決を行うために問い合わせる DNS サーバの IP アドレスを指定します。複数の DNS サーバを指定する場合は、1 行に 1 つの IP アドレスを入力します。このフィールドを省略すると、BitNote はホスト名を使用して他のコンピュータを特定することができなくなります。

4.2 時刻設定

時刻設定					
時刻設定	<input checked="" type="radio"/> 手動	年月日	2016/10/06	時刻	11:11:53
	<input type="radio"/> NTPサーバ	NTP1	ntp.nict.jp	NTP2	ntp.ring.gr.jp

[変更を保存](#)

BitNote のシステム時刻を設定します。

手動

サーバの現在時刻を指定します。

NTP サーバ

時刻同期を行う NTP サーバを指定します。プライマリサーバとセカンダリサーバの指定が可能です。

4.3 マウント設定

マウント設定

マウント設定 Windowsファイル共有(SMB) ▼

ラベル

マウント元

ユーザ名

パスワード

マウントポイントを追加 追加 +

ラベル	マウントタイプ	マウント元	ユーザ名	アンマウント	削除
share1	smb	//192.168.0.123/data	share1	マウント	削除
share2	nfs	192.168.0.124:/data		マウント	削除

変更を保存

ネットワーク上の共有ディレクトリをマウントします。マウントした共有ディレクトリは「ファイル再生」画面の「ディスク選択」に表示されます。

Windows ファイル共有(SMB) / NFS

共有ディレクトリのタイプを指定します。「Windows ファイル共有(SMB)」および「NFS」から指定可能です。

ラベル

マウントポイントを識別するために任意のラベル名を指定します。

マウント元

マウント元を以下のフォーマットで入力します。

192.168.0.10 は共有ディレクトリを公開しているサーバの IP アドレスです。

SHARE_DIR は公開している共有ディレクトリの名称です。

マウントタイプ	入力形式
Windows ファイル共有(SMB)	//192.168.0.10/SHARE_DIR
NFS	192.168.0.10:/SHARE_DIR

ユーザ名 / パスワード

マウント先に「Windows ファイル共有(SMB)」を設定した場合に表示されます。

共有ディレクトリへアクセスするために必要なユーザ名とパスワードを指定します。

マウントポイントを追加

「追加」ボタンを押すと入力したマウントポイントが一覧に追加されます。

「変更を保存」ボタンをクリックし、設定を反映してください。

マウントポイント一覧

項目	説明
ラベル	ラベルが表示されます。ラベルは検査実行のウォッチフォルダ選択時や「ディスク選択」に表示されます。
マウントタイプ	共有ディレクトリのタイプが表示されます。
マウント元	マウント元が表示されます。
ユーザ名	共有ディレクトリへアクセスするために使用されるユーザ名が表示されます。
マウント/アンマウント	ボタンを押すと、共有ディレクトリがマウント/アンマウントされます。マウントされた共有ディレクトリは「ファイル再生」画面の「ディスク選択」に表示されます。
削除	マウントポイントを削除します。マウント中は削除できません。 削除後は「変更を保存」ボタンをクリックし、設定を反映してください。

4.4 Windows 共有設定

Windows共有設定

Windows共有設定	Windows共有	<input checked="" type="checkbox"/>
	グループ	<input type="text" value="WORKGROUP"/>
	Net Bios名	<input type="text" value="BitNote"/>
	ユーザ名	<input type="text" value="bitnote"/>
	パスワード	<input type="password" value="*****"/>

Windows 共有を有効にすると、BitNote のデータ保存領域（内蔵 SSD）が公開され、同じ LAN に接続されている Windows クライアントからアクセスできるようになります。

設定項目は以下の通りです。

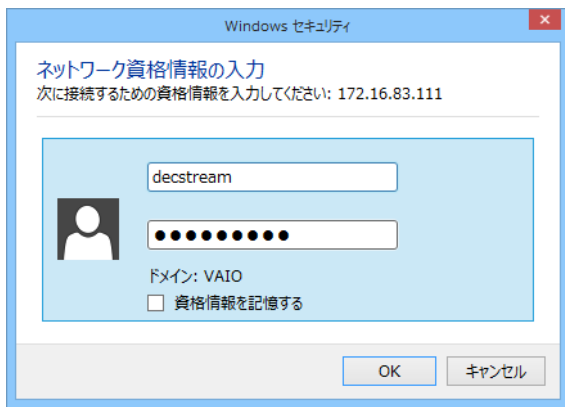
項目	説明	初期値
Windows 共有	Windows 共有サービスの ON/OFF を設定します。	OFF
グループ	Windows ネットワークのワークグループ名を指定します。	WORKGROUP
NetBIOS 名	NetBIOS 名を指定します。Windows ネットワークにはここで指定した名前が表示されます。	BitNote
ユーザ名	共有フォルダへアクセスするユーザ名を指定します。	bitNote
パスワード	共有フォルダへアクセスするユーザのパスワードを指定します。	bitNote

設定保存後、以下の手順で BitNote のデータ保存領域へアクセスします。

エクスプローラの場合ツールバーへ BitNote の IP アドレスと共有フォルダ名（BitNote）を指定します。以下は IP アドレスが 192.168.0.10 の例です。

¥¥192.168.0.10¥BitNote

ユーザ名とパスワードを要求されます。



設定画面で設定した「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「OK」を押します。

認証に成功すると BitNote のデータ保存領域（内蔵 SSD）へアクセスできます。

Windows PC からコンテンツをコピーしてください。

4.5 アラート設定

アラート設定

アラート設定	アラート送信	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	トラップテスト
	トラップ送信先	<input type="text" value="192.168.0.10"/>		
	コミュニティ	<input type="text" value="public"/>		
	アラート送信先アドレス	<input type="text" value="taro@example.com"/>		
	検査結果エラー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	CPU	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	80% ▼
	メモリ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	80% ▼
	システムドライブ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	80% ▼
	データドライブ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	80% ▼
	電源	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	ファン	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	ネットワーク	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	NTP	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	Windows共有	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

SNMP トラップの設定を行う管理画面です。トラップの有効/無効、およびトラップごとの送信設定が可能です。

アラート送信

SNMP トラップを送信するかどうかを設定します。OFF に設定すると SNMP トラップは送信されません。全てのトラップが無効になります。

トラップテスト

「トラップ送信先」に設定した SNMP マネージャ宛にテストトラップを送信します。

トラップ送信先

SNMP トラップを送信するマネージャの IP アドレスを指定します。

コミュニティ

SNMP コミュニティ名を指定します。

アラート送信先アドレス

アラートをメールで通知したい場合は、通知メールを送信するメールアドレスを入力します。

検査結果エラー

QC 実行結果をメールで通知するかどうかを指定します。「アラート送信先アドレス」へ指定したメールアドレスへ送信されます。

CPU

CPU 使用率のアラートを通知するかどうかを指定します。

「ON」の場合、設定した閾値を超えるとアラートが送信されます。

メモリ

メモリ使用率のアラートを通知するかどうかを指定します。

「ON」の場合、設定した閾値を超えるとアラートが送信されます。

システムドライブ

システムドライブ使用率のアラートを通知するかどうかを指定します。

「ON」の場合、設定した閾値を超えるとアラートが送信されます。

データドライブ

データドライブ使用率のアラートを通知するかどうかを指定します。

「ON」の場合、設定した閾値を超えるとアラートが送信されます。

電源

電源の異常を検出した際にアラートを通知するかどうかを指定します。

ファン

ファンの異常を検出した際にアラートを通知するかどうかを指定します。

RAID

RAID1 を構成するシステムディスクの異常を検出した際にアラートを通知するかどうかを指定します。

ネットワーク

ネットワークインターフェイスの異常を検出した際にアラートを通知するかどうかを指定します。

NTP

NTP サーバとの時刻同期に異常が発生した際にアラートを通知するかどうかを指定します。

Windows 共有

Windows 共有サービスの状態を通知するかどうかを指定します。

4.6 システム

システム	
再起動・停止	BitNoteサービスの再起動 <input type="button" value="再起動"/>
	システムの再起動 <input type="button" value="再起動"/>
	システムの停止 <input type="button" value="停止"/>
ログ	ログ保存期間 (日指定) <input type="text" value="30"/> ログ DB のみ削除 <input type="checkbox" value="OFF"/>
	ログ保存容量リミット (%) <input type="text" value="5"/>
	システムログのダウンロード <input type="button" value="エクスポート"/>
	<input type="button" value="変更を保存"/>

BitNote サービスの再起動および BitNote サーバの起動と停止が可能です。また、検査結果の保存期間を指定できます。

BitNote サービスの再起動

BitNote のサービスを再起動します。通常実行する必要はありません。何らかの不具合で BitNote が正常に動作しない場合にサービスを再起動できます。

システムの再起動

BitNote サーバを再起動します。

システムの停止

BitNote サーバをシャットダウンします。



「システムの停止」を実行してもサーバがシャットダウンしない場合は、電源ボタンを長押しで強制シャットダウンできます。強制シャットダウンはウェブ管理画面からシステム終了ができない場合のみ実行してください。

ログの保存期間 (日指定)

指定した日数より前に作成された検証結果レポートを削除します。

ログ DB のみ削除

検証結果レポートを削除しないで、データベースのログのみを削除します。ON にすると「ログ保存容量リミット (%)」は、0 に設定されます。

ログ保存容量リミット (%)

システムストレージの使用量が指定した%を超えた場合、検証結果レポートを削除しディスク容量を確保します。

システムログのダウンロード

「エクスポート」 ボタンを押すとシステムログをダウンロードできます。

第5章 QC

この章では、BitNote の「QC」メニューについて記載しています。

クオリティチェックを実行するには、はじめに検査項目を定義したプロファイル（.pf ファイル）を用意する必要があります。プロファイルには、検査項目の閾値や適正値を定義します。

5.1 プロファイル

プロファイル一覧				
新規プロファイル追加 +				
プロファイル名	コメント	作成日	編集	削除
sample_hevc.pf		2016/10/05 15:29:19	編集	削除
sample_xavc.pf		2016/10/05 15:35:00	編集	削除
sample_xdcam.pf		2016/09/29 17:33:20	編集	削除

「プロファイル」を表示すると、初期状態で3つのプロファイルが登録されています。

初期プロファイル

sample_hevc.pf	H.265/HEVC ファイル検査用のサンプルプロファイルです。
sample_xavc.pf	XAVC ファイル検査用のサンプルプロファイルです。
sample_xdcam.pf	XDCAM ファイル検査用のサンプルプロファイルです。

新規プロファイルを作成するには「新規プロファイル追加」ボタンを押します。以下の「新規プロファイル作成」画面が表示されます。

新規プロファイル作成		コメント(任意)	
テンプレートプロファイル	未選択	○○用プロファイル	
プロファイル名	sample_hevc.pf sample_xavc.pf sample_xdcam.pf		
		新規作成	

あらかじめ、HEVC、XAVC、XDCAM 用のテンプレートプロファイルが用意されています。

テンプレートプロファイルを選択し、「プロファイル名」を入力します。また、必要に応じて「コメント」欄にテキストを入力することが可能です。

入力後、「新規作成」ボタンを押します。プロファイル編集画面が表示されます。

新規プロファイル作成 ×

テンプレートプロファイル

プロファイル名 コメント(任意)

コンテナ設定 -

コンテナタイプ	<input type="text" value="MXF"/>	コンテナビットレート(Kbps)	<input type="text" value="450000:600000"/>
コンテナデュレーション(msec)	<input type="text"/>	MXFオペレーショナルパターン	<input type="text" value="OP1a"/>
GOP発行間隔(msec)	<input type="text" value="0:17"/>		

映像設定 +

音声設定 +

その他 +

プロファイルの設定項目については、「第 7 章 プロファイル」を参照してください。編集後、「プロファイルを保存」を押して設定を保存します。

プロファイル一覧に追加されます。

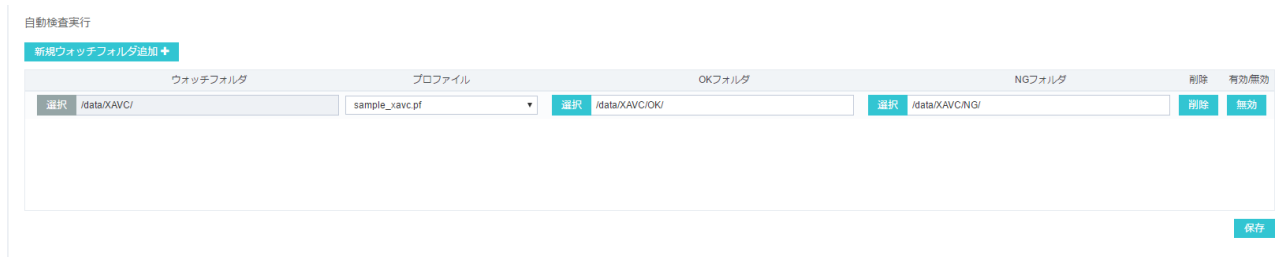


ウォッチフォルダで使用されているプロファイルを削除することはできません。

5.2 検査実行

「検査実行」では、クオリティチェックを自動実行するための「ウォッチフォルダ」の設定を行います。検査ファイルを「ウォッチフォルダ」へコピーすると自動的に検査が実行され、検査完了後、「OK フォルダ」あるいは「NG フォルダ」へファイルを移動します。また、選択したファイルを手動で検査することも可能です。

5.2.1 自動検査実行



「自動検査実行」では、ウォッチフォルダの設定を行います。



ウェブ管理インターフェイスからフォルダの作成や削除は行えません。事前にウォッチフォルダ / OK フォルダ / NG フォルダとして指定するフォルダを作成しておく必要があります。

BitNote サーバに搭載されているデータストレージ (/data) へアクセスするには Windows 等のクライアント PC から共有フォルダへアクセスします。また、外部ストレージ上のフォルダを指定する場合は、事前に外部ストレージをマウントしておく必要があります。「4.4 Windows 共有設定」および「4.3 マウント設定」を参照してください。

各設定項目は以下の通りです。

新規ウォッチフォルダの追加

新規にウォッチフォルダを設定する場合は、このボタンをクリックします。

一覧に設定行が追加されます。

ウォッチフォルダ

「選択」ボタンを押すと以下の選択ダイアログが表示されます。ディスクを選択し、ウォッチフォルダを選択します。/data は BitNote サーバのデータストレージを意味します。また、外部ストレージをマウントしている場合は、「マウント設定」で指定した「ラベル」が表示されます。

例) /data/XAVC



プロファイル

ウォッチフォルダへコピーされたファイルを検査するプロファイルを指定します。

OK フォルダ

「選択」ボタンを押すとフォルダの選択ダイアログが表示されます。OK フォルダを指定します。

検査の結果、NG が 1 つも存在しなかったファイルはこのフォルダへ移動されます。

NG フォルダ

「選択」ボタンを押すとフォルダの選択ダイアログが表示されます。NG フォルダを指定します。

検査の結果、NG が 1 つでも存在したファイルはこのフォルダへ移動されます。

削除

ウォッチフォルダを削除します。「有効」に設定されているウォッチフォルダは削除できません。

はじめにウォッチフォルダを無効にしてください。

削除後、変更を反映するには「保存」ボタンを押下します。

有効/無効

ウォッチフォルダの有効/無効を切り替えます。

設定後、変更を反映するには「保存」ボタンを押下します。

保存

設定後、変更を反映するには「保存」ボタンを押下します。

5.2.2 手動検査実行



「手動検査実行」ではファイルを個別に選択をして手動で検査を実行することが可能です。ウォッチフォルダと異なるフォルダに存在するファイルを検査したい場合や、外付け USB メモリに格納されているファイルをウォッチフォルダへコピーせずに直接検査したい場合は手動実行が便利です。

各設定項目は以下の通りです。

ディスク選択

ディスクを選択します。/data は BitNote サーバのデータストレージを意味します。外付け USB メモリやストレージを接続した場合は「USB1」「USB2」といったディスク名で表示されます。また、外部ストレージをマウントしている場合は、「マウント設定」で指定した「ラベル」が表示されます。



外付けの USB メモリやストレージを選択すると **アンマウント** ボタンが表示されます。USB デバイスを取り外すときはアンマウントを実行してから取り外してください。

ディレクトリ選択

選択したディスクに存在するフォルダが表示されます。クリックして階層を下ることができます。

ファイル一覧

選択したディレクトリに格納されている動画ファイルが表示されます。「タイムスタンプ」、「ファイルサイズ」、「映像の長さ」、「コーデック」といったファイル情報も表示されます。

ファイル名の左にあるチェックボックスをクリックして手動実行したいファイルを選択します。

チェックするファイル

選択したファイルが表示されます

プロファイル

選択したファイルを検査するプロファイルを選択します。

実行

「実行」ボタンを押すと手動検査が開始されます。「実行中」に検査の進捗状況が表示されます。

実行中			
ウォッチフォルダ	プロファイル	チェックファイル	
manual	sample_hevc.pf	/data/bbb_sunflower_2160p_60fps_normal-HEVC.ts	<div style="display: flex; align-items: center;"><div style="width: 2%; height: 10px; background-color: black; border-radius: 5px;"></div> 2% 停止</div>

5.3 検査結果

検査結果

表示中 50 エントリー

検索:

	パス	ファイル	コーデック	プロファイル	結果	検査開始	検査終了	ログ	PDFログ	DL	全て削除
	/data	bbb-60sec.mp4	MP4/H264/AAC	sample_hevc.pf	チェック項目数:2 9 ✔18 ✖11	2017/10/ 17 11:1 4:53	2017/10/ 17 11:1 5:26	表示	表示	DL	削除
	/data	bbb-60sec.mp4	MP4/H264/AAC	sample_hevc.pf	チェック項目数:2 9 ✔18 ✖11	2017/10/ 17 11:1 3:03	2017/10/ 17 11:1 3:37	表示	表示	DL	削除
	/data	bbb-60sec.mp4	MP4/H264/AAC	sample_hevc.pf	チェック項目数:2 9 ✔18 ✖11	2017/10/ 17 11:1 2:22	2017/10/ 17 11:1 2:56	表示	表示	DL	削除
	/data	bbb-60sec.mp4	MP4/H264/AAC	sample_hevc.pf	チェック項目数:2 9 ✔18 ✖11	2017/10/ 17 11:1 1:41	2017/10/ 17 11:1 2:14	表示	表示	DL	削除
	/data	bbb-60sec.mp4	MP4/H264/AAC	sample_hevc.pf	チェック項目数:2 9 ✔18 ✖11	2017/10/ 17 11:1 1:01	2017/10/ 17 11:1 1:34	表示	表示	DL	削除
	/data	bbb-60sec.mp4	MP4/H264/AAC	sample_hevc.pf	チェック項目数:2 9 ✔18 ✖11	2017/10/ 17 11:0 9:27	2017/10/ 17 11:1 0:01	表示	表示	DL	削除

検査結果の一覧が表示されます。「表示中」で表示エントリ数を変更可能です。「検索」はファイル名での検索が可能です。また、項目名の ▲▼をクリックすることでソート表示可能です。

各項目は以下の通りです。

サムネイル

ファイルの先頭のサムネイルを表示します。クリックすると「映像のプレビュー」画面へジャンプします。プレビューについては「第8章 プレビュー」を参照してください。

パス

検査したファイルが格納されているフォルダのパスが表示されます。

ファイル

検査したファイル名が表示されます。

コーデック

検査したファイルの動画コーデック/音声コーデックが表示されます。

プロファイル

検査で使用したプロファイルが表示されます。

結果

検査結果のサマリーが表示されます。検査項目数、OK 項目数、NG 項目数が表示されます

検査開始時刻

検査を開始した時刻が表示されます。

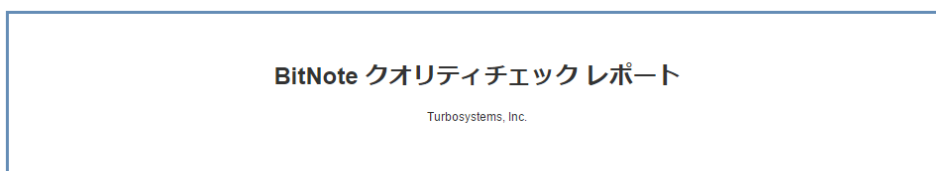
検査終了時刻

検査が完了した時刻が表示されます。

ログ

HTML 形式のログを表示することができます。「ログ」ボタンをクリックするとログが展開されます。

「表示」ボタンが表示されます。クリックすると以下のレポートが表示されます。



レポート概要

日時	2016/10/13 15:16
ファイルパス	/data/HEVC/bbb_sunflower_2160p_60fps_normal-HEVC.ts
プロファイルパス	/data/PF/sample_hevc.pf
ファイルサイズ	2,211,885,236 bytes (2.1G)
チェック結果	チェック項目数:43, 成功:38, 失敗:5

[コンテンツ再生](#) [プロファイルの編集](#)

コンテナ

項目	値	チェック
拡張子	ts	✓ OK
タイプ	TS188	✓ OK
時間	634433(ms)	
ビットレート	27890(Kb/s)	✗ NG
映像コーデック	HEVC	✓ OK
音声コーデック	AAC	✓ OK
ProgramID	1	
PID	4096(pmt) 256(pcr) 256(vdo) 257(ado1)	
GOP 発行間隔	最小:500 / 最大:500(ms)	✓ OK

(省略)

56	00:07:20:40	Error: 音声1 ラウドネス-9.14dBTP(-9.20)オーバーしました	
57	00:07:20:40	Error: 音声1 トワルーピーク 0.35dBTP(-1.00)オーバーしました	
58	00:07:20:46	Error: 音声1 ラウドネス-8.92dBTP(-9.20)オーバーしました	
59	00:07:20:46	Error: 音声1 トワルーピーク -0.39dBTP(-1.00)オーバーしました	
60	00:07:27:34	Error: 音声1 トワルーピーク -0.23dBTP(-1.00)オーバーしました	
61	00:07:28:58	Error: 音声1 トワルーピーク -0.62dBTP(-1.00)オーバーしました	
62		Info: 読み込みサイズ2211885236	
63		Info: デコードを終了しました	
64		Error: 音声 ラウドネス -2500-2300 (-1875)	
65		Error: コンテナ PCR 0:100 (33:466)	
66		Info: HEVC NAL: IDR_W_RADL:1 CRA_NUT:1268 TRAIL_N:11420 TRAIL_R:22841 RASL_N:1268 RASL_R:1268 最大POC:255	

[プロファイルの編集](#)

プロファイルで定義した値とファイルの検査結果が異なる項目は「NG」と表示されます。

「コンテンツ再生」ボタンを押すと「映像のプレビュー」画面が表示されます。
また、エラーログのリンクをクリックするとプレビュー画面が表示され、クリックしたエラーの箇所へジャンプすることが可能です。プレビュー画面については「第 8 章 プレビュー」を参照してください。

「プロファイルの編集」ボタンを押すと、プロファイル編集画面が表示され、NG と判定された項目が赤色で表示されます。値を変更したプロファイルを再作成したい場合に便利な機能です。

PDF ログ

PDF 形式のレポートをダウンロードするにはこのボタンをクリックします。

DL

HTML の検証レポートをダウンロードできます。プレビューへのリンクはありません。

全て削除/削除

レポートを手動で削除したい場合は「削除」ボタンを押します。「全てを削除」を押すと全てのレポートが削除されます。レポートの自動削除設定は「4.6 システム」を参照してください。

第6章 システム情報



システム情報	
システム情報	xjive デコーダ 1.02-1412211133 DECSTREAM-4k GUI 0.9.3
システムのアップデート	アップデートファイル: ファイルを選択 選択されていません アップロード アップデートを適用

BitNote のバージョン情報、およびソフトウェアアップデートのための管理インターフェイスが表示されません。

システム情報

デコーダソフトウェアのバージョンとウェブ管理画面のバージョンを表示します。

システムのアップデート

最新のソフトウェアへアップデートすることができます。

1. 「ファイル選択」ボタンを押下し、アップデートファイルを選択します。
2. 「アップロード」ボタンを押下します。
3. 「アップデートを適用」ボタンが有効になったらボタンを押下します。
4. アップデート処理が始まります。

第7章 プロファイル

この章ではプロファイルの設定項目について解説しています。



選択した「テンプレートプロファイル」によって、設定可能な項目や初期値は異なります。



空白にした項目は検査対象から除外されます。

7.1 コンテナ設定

項目名	説明
コンテナタイプ	コンテナのタイプを指定します。 TS では、MPEG2 TS パケットサイズ (188, 192, 204) を指定します。
コンテナビットレート(Kbps)	コンテナから検出できるビットレートを Kbps 単位で指定します。 例) 29000:31000
コンテナデュレーション(msec)	コンテナから検出できるデュレーションをミリ秒単位で指定します。 例) 60000:60100
MXF オペレーショナルパターン	MXF のオペレーショナルパターンを指定します。
GOP 発行間隔(msec)	GOP の発行間隔を指定します。 ARIB では 1000mSec 以内とされています。 例) 100:1001
PCR 発行間隔(msec)	PCR の発行間隔を指定します。 ARIB では 100mSec 以内とされています。 例) 0:100
PAT 発行間隔(msec)	PAT の発行間隔を指定します。 ARIB では 500mSec 以内とされています。 例) 0:500
PMT 発行間隔(msec)	PMT の発行間隔を指定します。 ARIB では 500mSec 以内とされています。 例) 0:500

TS プログラム ID	TS PROGRAM_ID を検査したい場合、10 進数で指定します。
TS PMT PID	TS PMT PID を検査したい場合、10 進数で指定します。
TS PCR PID	TS PCR PID を検査したい場合、10 進数で指定します。
TS VIDEO PID	TS VIDEO PID を検査したい場合、10 進数で指定します。
TS AUDIO PID	TS AUDIO PID を検査したい場合、10 進数で指定します。
TS AUDIO2 PID	TS AUDIO2 PID を検査したい場合、10 進数で指定します。

7.2 映像設定

項目名	説明
映像コーデック	映像コーデックを指定します。
映像プロファイル	映像コーデックのプロファイルを指定します。
映像レベル	映像コーデックのプロファイルレベルを指定します。
映像フォーマット	YUV 構造を指定します。
映像サイズ	映像サイズ（解像度）を指定します。
アスペクトレシオ	アスペクトレシオを指定します。
フレームレート(FPS)	フレームレートを FPS 単位で指定します。
フィールドオーダー	プログレッシブまたはインターレースかを指定します。 インターレースの場合は、トップフィールドファーストかボトムフィールドファーストかを指定します。
カラーレンジ	映像の色空間がリミテッドレンジか、フルレンジかを指定します。通常、MPEG2/H.264/HEVC ではリミテッドレンジですが、XAVC はフルレンジです。
カラースペース	映像の色域定義を指定します。(BT.707, BT.2020C, BT.2020NC 等) XAVC では BT.709 に設定されます。
カラープライマリ	YUV に変換する場合の色域定義を指定します。(BT.709、BT.2020 等) XAVC では BT.709 に設定されます。
カラートランスファー	映像送信する際の色域定義を指定します。(BT.709, BT.2020, SMPTE2084, ARIB_STD_B67 等) XAVC では BT.709 に設定されます。
映像デュレーション(msec)	実際の映像から検出する再生時間をミリ秒単位で指定します。 例) 60000:60100
映像ビットレート(KByte)	映像から検出するビットレートを KByte 単位で指定します。 例) 10:40000

映像平均ビットレート(KByte)	映像の実際の平均ビットレートを KByte 単位で指定します。 例) 18000:31000
映像揺らぎ誤差	映像の 1 フレームの持つ時間とタイムスタンプを比較するときの揺らぎ誤差（検出しない差）をタイムスタンプ単位で指定します。
黒レベル(%)	黒レベル検出の閾値をパーセントで指定します。
黒レベルの時間閾値(msec) (警告)	設定値を超えた場合、レポートのログに警告を表示します。「黒レベルの時間閾値(msec)」の値を超えた場合はエラーになります。
黒レベル時間閾値(msec)	黒レベル時間の閾値をミリ秒単位で指定します。 例えば 1000 の場合は、黒レベルが 1 秒間続くとエラーになります。
フリーズレベル(%)	フリーズレベル検出の閾値をパーセントで指定します。
フリーズレベルの時間閾値 (msec) (警告)	設定値を超えた場合、レポートのログに警告を表示します。「フリーズレベルの時間閾値(msec)」の値を超えた場合はエラーになります。
フリーズレベル時間閾値 (msec)	フリーズレベル時間の閾値をミリ秒単位で指定します。 例えば、1000 の場合は、フリーズレベルが 1 秒間続くとエラーになります。
Harding FPA ※ オプション	パカパカチェックの有効/無効を指定します。
スタートタイムコード	最初のタイムコードを HH:MM:SS:FF の形式（例: 01:00:00:00）で指定します。

7.3 音声設定

項目名	説明
音声コーデック	音声コーデックを指定します。
音声プロファイル	音声コーデックのプロファイルを指定します。
音声レベル	音声コーデックのプロファイルレベルを指定します。 AAC の場合、MPEG2 か MPEG4 かを指定します。
サンプルレート	音声サンプルレートを指定します。
音声ラウドネス(LKFS) 警告	設定値の範囲内であれば、レポートのログに警告を表示します。 例えば、「音声ラウドネス(LKFS)」に -25:-23 を入力、「音声ラウドネス(LKFS) 警告」に -70:-25 を入力した場合、検出結果が -70 から -25 の間の場合は警告、-24 は OK、-23 以上の場合は NG となります。
音声ラウドネス(LKFS)	音声 1 のラウドネス値を指定します。 日本の放送の場合、TR-B32 で定義されている値、-24.0LKFS (-25:-

	23) を指定します。
音声揺らぎ誤差	音声の1フレームの持つ時間とタイムスタンプを比較するときの揺らぎ誤差(検出しない差)をタイムスタンプ単位で指定します。 通常、1パケット程度の誤差は発生します。
音声デュレーション(msec)	実際の音声から検出する再生時間をミリ秒単位で指定します。 例) 60000:60100
音声ビットレート(KByte)	実際の音声から検出するビットレートを KByte 単位で指定します。 例) 10:600
映像と音声の差(msec)	TS パケット上で復調するときの映像と音声のタイムスタンプの差異の最大値をミリ秒単で指定します。
音声無音検出閾値(LKFS)	無音検出の閾値を LKFS 単位で指定します。 ARIB では無音は -70LKFS とされています。
音声無音の時間閾値(msec) (警告)	設定値を超えた場合、レポートのログに警告を表示します。「音声無音の時間閾値(msec)」の値を超えた場合はエラーになります。
音声無音の時間閾値(msec)	無音時間の閾値を指定します。 例えば、3000 の場合は、3 秒間無音が続くとエラーになります。
音声トゥルーピーク(dBTP)	トゥルーピークのピークレベル検出閾値を dBTP 単位で指定します。
音声ラウドネスピーク(LKFS)	ラウドネスのピークレベル検出閾値を LKFS 単位で指定します。
音声マッピングタイプ	音声 が 2ch の場合は、音声がどのようにマッピングされているかを指定します。音声 が 4ch、6ch、8ch の場合は指定する必要はありません。 ラウドネスの検査に影響がありますので必ず正しい音声モードを指定してください。 ・モノラル (1ch:モノラル音声、2ch:1ch と同位相同レベルの音声) ・ステレオ (1ch:L、2ch:R) ・二音声 (1ch:主音声、2ch:副音声) 音声モードについては「参考1) 音声マッピング対応で指定する音声モードについて」を参照してください。
音声2ラウドネス(LKFS) 警告	設定値の範囲内であれば、レポートのログに警告を表示します。 例えば、「音声2ラウドネス(LKFS)」に -25:-23 を入力、「音声2ラウドネス(LKFS) 警告」に -70:-25 を入力した場合、検出結果が -70 から -25 の間の場合は警告、-24 は OK、-23 以上の場合は NG となります
音声2ラウドネス(LKFS)	音声2のラウドネス値を指定します。 日本の放送の場合、TR-B32 で定義されている値、-24.0LKFS (-25:-

	23) を指定します。
音声 2 デュレーション(msec)	音声 2 がある場合、実際の音声から検出する再生時間の長さをミリ秒単位で指定します。 例) 60000:60100
音声 2 ビットレート(KByte)	音声 2 がある場合、実際の音声から検出するビットレートを KByte 単位で指定します。 例) 10:600
音声 2 無音検出閾値(LKFS)	音声 2 の無音検出の閾値を LKFS 単位で指定します。 ARIB では無音は -70LKFS とされています。
音声 2 無音の時間閾値(msec) (警告)	設定値を超えた場合、レポートのログに警告を表示します。「音声 2 無音の時間閾値(msec)」の値を超えた場合はエラーになります。
音声 2 無音の時間閾値(msec)	音声 2 の無音時間の閾値を指定します。 例えば、3000 の場合は、3 秒間無音が続くとエラーになります。
音声 2 トゥルーピーク(dBTP)	音声 2 のトゥルーピークのピークレベル検出閾値を dBTP 単位で指定します。
音声 2 ラウドネスピーク (LKFS)	音声 2 のラウドネスのピークレベル検出閾値を LKFS 単位で指定します。

参考 1) 音声マッピングタイプで指定する音声モードについて

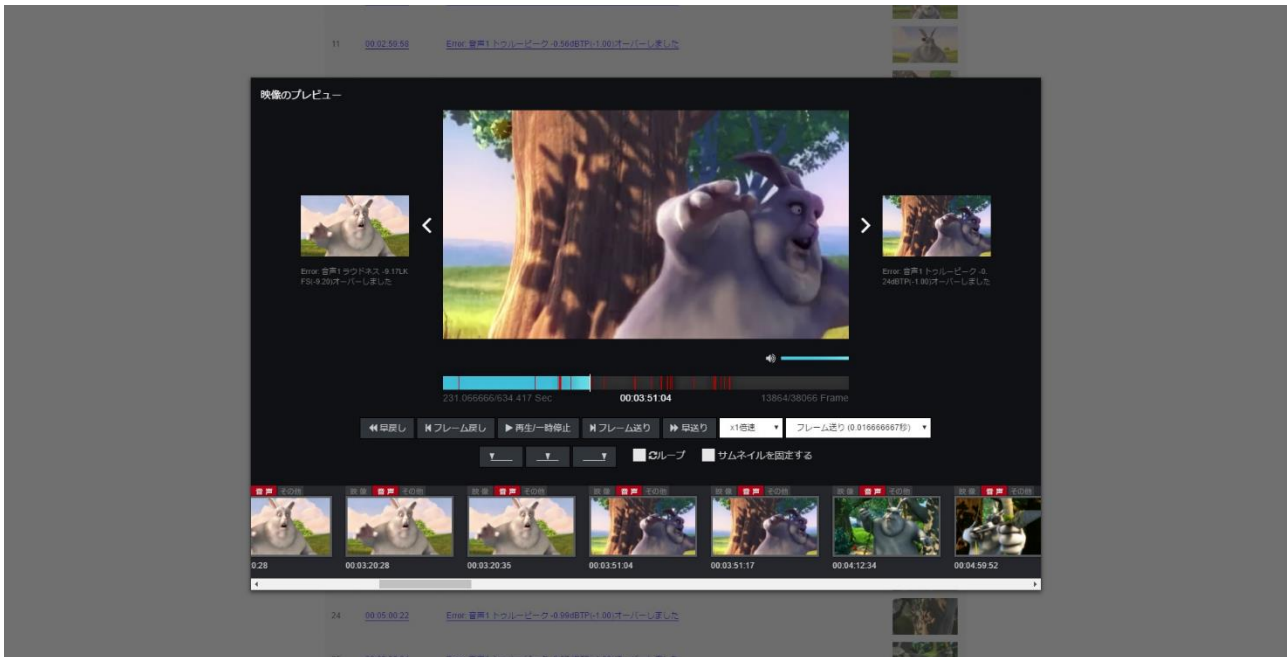
音声トラックのアサインは以下の表の通りです。

音声モード	音声トラックアサイン							
	1ch	2ch	3ch	4ch	5ch	6ch	7ch	8ch
モノラル	モノラル音声	1ch と同位相同レベルの音声						
ステレオ	L	R						
二音声	主音声	副音声						
デュアルステレオ	主音声の L	主音声の R	副音声の L	副音声の R				
5.1 サウンド	L	R	C (センター)	LFE (低音強調 ch)	Ls (L サイド)	Rs (R サイド)		
5.1 サウンド +ステレオ	L	R	C	LFE	Ls	Rs	副音声の L	副音声の R

7.4 その他

項目名	説明
プロキシファイル作成	プロキシファイル作成の有効/無効を指定します。
ハッシュ形式	ハッシュを生成する場合、ハッシュのタイプを選択します。
本編開始時間	検査の実行を開始するタイムコードを指定できます。
本編終了時間	検査の実行を終了するタイムコードを指定できます。

第8章 プレビュー



プレビューのパフォーマンスは、回線速度や再生しているクライアント PC のスペックに依存します。環境によってはスムーズに動作しない可能性があります。

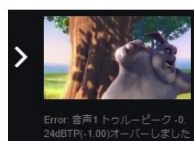
プレビューはプロファイルの「その他」 - 「プロキシファイル作成」が「ON」に設定されている場合のみ利用可能です。「映像のプレビュー」画面は以下の操作で表示されます。

- ・ 「検査結果」ページに表示されている結果一覧のサムネイルをクリックする
- ・ レポート (HTML 版) を表示し、「コンテンツ再生」ボタンをクリックする
- ・ レポート (HTML 版) を表示し、エラーログのリンクをクリックする。この場合はエラー検出したタイムコードの映像を表示します。

プレビュー画面を閉じるには、プレビュー画面の外をクリックします。

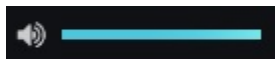
各ボタンや操作は以下の通りです。

前のエラー / 次のエラー



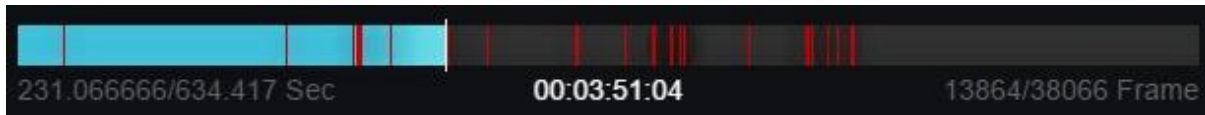
矢印をクリックすると前のエラー、次のエラーの映像へジャンプすることが可能です。

音量調節



バーをクリックして音量を調節することができます。

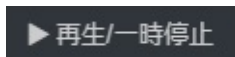
再生バー



再生バーです。映像の長さ、再生位置、再生フレームを確認できます。バーをクリックして映像の再生位置を変更することができます。

エラーを検出した場所は赤い線が表示されます。

再生/一時停止



ボタンを押すたびに再生/一時停止が切り替わります。

早戻し / 早送り



x1倍速

のプルダウンで指定した速度で映像を早戻し/早送りします。

フレーム戻し / フレーム送り



フレーム送り (0.016666667秒)

のプルダウンで指定した間隔で映像を進めたり、戻したりすることができます。

三点チェック再生



先頭、真ん中、最後から 10 秒へ移動し映像を再生します。

ループ再生



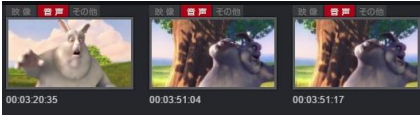
映像をループ再生するかどうかを指定できます。

サムネイルを固定する

サムネイルを固定する

通常、サムネイルは再生している映像の位置にあわせて自動的に移動しますが、この設定を有効にするとサムネイルは移動せずに固定されます。

サムネイル



エラーを検出したタイムコード付近のスクリーンショットが表示されます。サムネイルをクリックすると、そのタイムコードの映像へジャンプします。

第9章 アラート一覧

この章では「BitNote」が送信する SNMP トラップについて記載しています。

送信メッセージ	OID
トラップテスト	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.1
デーモンを起動しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.1001
デーモンを終了しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.1880
フォルダエラーにより実行中のジョブをキャンセルします、	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.1722
コマンドエラー	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.1216
ウォッチフォルダを開けません	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.2216
ジョブをキャンセル	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.7077
QC 結果	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.7200
QC が異常終了しました。	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.7208
ファンの異常を検出しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.2001
ファンが正常に戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.2002
電源の異常を検出しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.2011
電源が正常に戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.2012
RAID1 に異常が発生しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.3001
RAID1 復旧状態(リビルド処理中)	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.3002
RAID1 が正常に戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.3003
メモリ使用量が高くなっています	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4001
メモリ使用量が正常な値に戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4002
CPU 使用率の負荷が高くなっています	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4011
CPU の負荷が正常な値に戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4012
システムドライブの空き容量が閾値よりも少なくなりました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4021
システムドライブの空き容量が正常レベルに戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4022
データドライブの空き容量が閾値よりも少なくなりました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4031
データドライブの空き容量が正常レベルに戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4032
ネットワークインタフェースとの通信が切断されました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.5001

ネットワークインタフェースとの通信が回復しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.5002
NTP サーバとの通信が切断されました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.6001
NTP サーバとの通信が回復しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.6002
smb サービスに異常が発生しました	1.3.6.1.4.1.44759.3000.7001
smb サービスが復旧しました	1.3.6.1.4.1.44759.3000.7002
nmb サービスに異常が発生しました	1.3.6.1.4.1.44759.3000.7003
nmb サービスが復旧しました	1.3.6.1.4.1.44759.3000.7004



TURBOSYSTEMS ターボシステムズ株式会社